

# 事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課		■担当係	産業連携推進係
■評価事業名称	産業連携推進事務			
■評価事業コード	050100 - 205		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	01 産業間連携の促進		
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業目的と概要	農業を起点とし、生産、流通、加工、販売の過程において付加価値向上を図る取組みを支援することにより、産業連携による新たな経済活動を促進し地域経済の発展に寄与すること。業務推進事務費等			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	産業連携推進事務	農業を起点とし、生産、流通、加工、販売の過程において付加価値向上を図る取組みに関する事業者	・市内農産物の販路開拓□次産業化・農商工連携の推進□次産業化に向けた勉強会の開催	・市内農産物の販路開拓□業務用野菜取引についてのマッチング□地産地消の推進□学校給食への新たな生産者グループによる納入仲介(3件)□市内飲食店と生産者の仲介(1件)□グリーンソーリズム協議会が設立され、3校の農業体験受入を実施した。

## 3. 投入コスト情報

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費			313	410	
人件費			3,512	4,738	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト			3,825	5,148	

## 4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析		問題点・課題等
■目標達成状況	<p>A. 順調 B. 概ね順調 C. 遅れている</p>	市内農産物の販路開拓については業務用野菜の取引の拡大に向けて情報収集、マッチングを進めた。地産地消に関する取組みについては学校給食及び市内飲食店と生産者のマッチングが進んでおり、今後取扱い品目の増加を増加を進めしていく。
1. 直接的な受益者の範囲	<p>不特定多数に及ぶ 特定されるが多数に及ぶ 特定少数に限定される</p>	<p>大きな不利益やリスクが生じる ある程度の不利益やリスクが生じる 不利益やリスクは小さい</p>
2. 事業廃止の影響		3. 国・県・民間との競合関係の有無
4. 事業へのニーズの変化	<p>ニーズが高まっている ニーズは変わらない ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>順位が高い 順位が中程度 順位が低い</p>
5. 施策の改善需要度(市民意識調査)		6. 施策の優先度(市民意識調査)
7. 他市町村に比較しての優位性	<p>先進的またはユニークな事業である 他と同程度の事業である 遅れている事業である</p>	<p>順位が高い 順位が中程度 順位が低い</p>
8. 実施主体の代替性	<p>民間委託等の拡充は難しい 民間委託等の拡充が十分に可能 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	9. 経済性・効率性の向上
■今後の方向性	<p>I. 拡充 II. 継続 III. 縮小・要改善</p>	<p>IV. 民間活用・協働事業化 V. 廃止・休止 VI. 完了</p>
補足説明		